

令和元年度 うさみの園居宅介護支援事業所 事業報告書

◎ 事業運営の概況

前年度同様 4 人の介護支援専門員を配置し、特定事業所加算Ⅱを算定。質の高いケアマネジメントが行えるよう体制整備を実施し、積極的に利用者増加に向け取り組んだが施設入所や、逝去される方が多く前年度からの利用者増加に繋がらなかった。

介護予防プランの委託や困難事例の依頼にも積極的に対応し、各地域包括支援センターや行政機関、医療機関との連携強化に努めた。

◎ 事業計画実施状況

1. ケアマネジメントの質の向上

- ・ 介護支援専門員の必須研修をはじめ、外部の研修にも積極的に参加する機会を作り各職員自己研鑽に励んだ。
- ・ 困難事例等のケースについては、週一回の居宅会議内や職員間で時間を図り事例検討会を実施。問題の明確化や対応方法などの検討を随時行い、情報の共有を図った。また、必要に応じて地域包括支援センターと協力し地域ケア会議に参加、援助技術の向上にも努めた。
- ・ 本年度も地域の他事業所と合同で年 4 回の研修会を企画し、地域全体の介護支援専門員の資質向上に努めた。

2. 地域包括等各関連機関との連携

- ・ 困難事例等を通し地域包括支援センターと協力し地域の中の課題を各事業所とのさらなる連携強化に努めた。
- ・ 社会福祉法人の職員としての自覚を持ち、今年度もいきいき支援相談会を本体と一体となり実施。法人理念である地域に拓かれた、地域に愛される、地域に信頼される施設を目指し取り組んだ。
- ・ 入院や退院時に必要な情報を医療機関と共有し、適切なサービスの調整に繋げた。

3. 事業所の収入安定

- ・ 利用者の意向を第一に尊重しつつ、うさみの園系列事業所のショートステイ、デイサービス、ヘルパーステーション等が提供するサービス利用者の増加に努めた。
- ・ ケアマネ担当件数の増加を目指し、紹介先である地域包括支援センターや医療機関にも挨拶回り等行い、困難事例なども積極的に受け入れた。
- ・ 特定事業所加算Ⅱを算定。特定事業所としての体制整備、ケアマネジメントの質の向上に努めた。

3. コンプライス意識の向上

- ・ 運営基準に基づき適切なケアマネジメント、請求業務を実施。法令遵守、介護支援専門員倫理綱領の遵守しサービスの提供を行った。
- ・ 厚生労働省からの介護保険最新情報や県、市からの情報収集に努め制度理解に努めた。